



50周年の祝賀イベントと男声合唱団（壁画は卒業生中山正實の「青春」原画）。

として新たに設立登記し初代理事長に茂木孟氏、二代理事長に宮崎徹夫氏が就任され、二〇一五（平成二七）年五月、宮崎前理事長の後任として森口が理事長に就任しました。

二〇一六（平成二八）年、『神戸大学東京六甲クラブ』は、『東京凌霜クラブ』発足から五〇周年を迎え、一〇月四日、東京・永田町の海運クラブで五〇周年記念の祝賀会を行いました。武田学長ほか多くのご来賓、二五〇名を超える会員のご参加をいただき、寺島美郎日本総合研究所会長の講演（『世界の構造変化と日本の課題と展望』）もあり、盛況裡に終わりました。また、『第六回東京六甲男声合唱団コンサート』、『上方落語の桂吉弥（平成七年教育学部卒）落語会』、『日野原重明祝祭管弦楽団コンサート』、『元学長で名誉教授の野上智行氏による講演「国立大学、応答せよ！」（国立大学の各界の期待と大学の現実や、「自立」と「イノベーション」への険しい道のりなど、様々な観点からの講話）』、『神戸大学OB、OGによる作品展』、『軽音楽ライブ』、『東京六甲クラブ五〇周年記念合同演奏会』など、五〇周年記念を冠した行事が行われました。

クラブでは、月例の講演、音楽会、映画鑑賞会等のイベント、ゴルフ、囲碁、将棋、書道、俳句、男声合唱団、等のサークル活動が行われています。今後はさらに諸行事を充実させ会員を増強、会員相互の親睦機会の向上を図るとともに、特に若い人た



帝劇ビル地下2階にある『神戸大学東京六甲クラブ』。

東京地区在住の神戸大学卒業生のためのクラブである『神戸大学東京六甲クラブ』は、一九六六（昭和四一）年の『東京凌霜クラブ』発足から昨年五〇周年を迎えました。その歩みは、一九〇七（明治四〇）年神戸高商の第一期生が卒業、一九二〇（大正九）年、神戸高商卒業生による東京での定例同窓会、第一回『火曜会』を丸の内中央亭（東京海上ビル）で開催、二四（大正一三）年同窓会情報誌『凌霜』が創刊され、社団法人『凌霜会』が設立されました。戦後、一九五〇（昭和二五）年、凌霜会東京支部が組織化され、初代支部長に三期生の出光佐三氏（明治四二・出光興産社長）が就任しました。

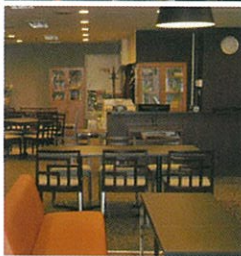
一九六六（昭和四一）年、支部総会で『東京凌霜クラブ』開設が承認され、帝劇ビル五階出光興産内で発足、七〇（昭和四五）年、同ビル地下二階の現在の場所に移転、活動の拠点になりました。二〇一一（平成二三）年、一般社団法人『神戸大学東京六甲クラブ』



森口隆宏

一般社団法人神戸大学東京六甲クラブ理事長

神戸大学
東京六甲クラブ五〇周年を迎えて



リニューアルしたロビー、ちょっと寄ってみよう！若手もリラックス、女性の美声も。

ちからも愛される。使い勝手がよく、風通しの良い明るいクラブに育て、

“ちょっと寄ってみよう”

そんな気持ちにさせるクラブづくりを進め、卒業生たちが集う憩の場として更なる充実に努めて行きます。

一方、昨今大学を取巻く環境も一変し、厳しさを増しつつあります。我が神戸大学も例外ではありません。OB、OGとしては母校の現況、行く末について気掛りになるニュースも散見される昨今です。このような状況のもとで、当クラブと大学とのコミュニケーションを一層密にして大学への期待、声援の思いを直接伝える機会を増やしたいと思えます。大学側も当クラブを通じて経済社会の新しい潮流、ニーズなどを肌で感じていただければと願っています。一九〇二（明治三五）年神戸高等商業学校を創立基盤にした神戸大学は、五年後の二〇二三年に創立一二〇周年を迎えます。母校のアニバサリー・フェアに対応する『神戸大学東京六甲クラブ』の諸行事、企画に取り掛かっています。ご期待を。

森口隆宏氏は一九六七（昭和四二）年に神戸大学経済学部を卒業。東京銀行に入行。東京三菱銀行副頭取、三菱東京UFJ銀行常任顧問、JPモルガン証券会長CEOを歴任。二〇一五年、神戸大学東京六甲クラブ理事長に就任。一九四四年兵庫県生まれ。

神戸大学東京六甲クラブ 事務局長はホッケーマン

東京六甲クラブのサークル活動の一つに囲碁会があります。かつてNHKの、「今からでも間に合う？脳力アップ大作戦、記憶と脳の謎に迫る！

囲碁はカギ？記憶力」——の番組で、神戸大学東京六甲クラブ（以下、クラブ）の囲碁を指している光景が放送されました。日頃会員と接する私も映像を見て会員の脳力を実感させられました。また、同じNHKの、増え続けるひとり暮らしを取り上げた番組でもクラブで取材を受けました。高齢化時代の過ごし方に関連してクラブの活動が目されたようです。クラブの会員の大勢は後期高齢者ですが、前期高齢者の卒業生の入会を促進して、共々、大いにセカンドライフを愉しんでいただけだと、クラブで行われる講演や音楽会など、ジャンルにこだわらず色々な企画を行っています。クラブは東京・日比谷の帝国劇場地階の飲食名店街の一角にあります。案内表示があるものの、レンガ造りの外装にレストランと見間違える方もいらっしゃるようです。

さて、私はまだ前期高齢者でサラリーマン生活を定年退職後、事務局長として理事長のもとでクラブの仕事に従事しています。よくある話に、俺は昔は偉かったと自慢する先輩もなく、皆さん和気あいあいとセカンドライフを愉しんでいます。学生時代は、私はホッケーに打ち込んできました。創部八八年になるホッケー部東京OB会の一員で、クラブで現役学生から、最近の活動状況やリーグ戦の結果を聞き、なかなか果たせない一部リーグへの復帰の夢がホッケーマンの血を騒がさせます。現役時代の思い出話や、自慢話で大いに盛り上がる。それに加えて出席者の幅の広さから、仕事は勿論、趣味・健康・年金など様々な話題でワイワイガヤガヤのうちに時間が過ぎてしまう。熟しますます盛んなクラブです。



一般社団法人神戸大学東京六甲クラブ常務理事
一般社団法人凌霜会東京支部事務局長 野崎 信

（一九七一・昭和四六年経済学部卒業）